



AMCO

## CaseReport

Specialists in the importing and marketing of USA and European medical and scientific products in Japan.

2021.05

27

## マイクロライン剪刀とバイクランプを用いたTEP

独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター 外科

## 小丹枝 裕二 先生



【略歴】 2006年 3月 札幌医科大学医学部 卒業  
 2018年12月 北海道大学大学院医学研究科医学専攻 博士課程修了(医学博士)  
 2006年 4月 恵み野病院 研修医  
 2008年 4月 恵み野病院 外科医師  
 2009年 4月 千歳市民病院 外科医師  
 2009年 7月 北海道大学病院 消化器外科学I医員  
 2011年 4月 北海道社会保険病院(現JCHO北海道病院)外科医師  
 2012年 4月 KKR札幌医療センター 外科医師  
 2013年 4月 北海道大学病院 消化器外科学I医員  
 2015年 6月 西さっぽろ病院 外科医師  
 2016年 4月 札幌北楡病院 外科医師  
 2017年 4月 JCHO札幌北辰病院 外科医師  
 2018年 4月 市立稚内病院外科 外科医長  
 2020年 4月 北海道医療センター 外科医師  
 ご所属は2021年5月当時の情報です

【所属学会】 日本外科学会 専門医  
 日本消化器外科学会 専門医  
 日本内視鏡外科学会 技術認定医  
 日本大腸肛門病学会  
 日本癌治療学会  
 日本透析医学会  
 日本ヘルニア学会

## ■ はじめに

当科では、TEPを安全に遂行するために、無血野で膜構造を確実に認識しながら切開剥離操作を行うことを意識している。出血のない効率的な手術手技のために、エネルギーデバイスはモノポーラとバイポーラを併用する。モノポーラはマイクロラインのミニメツェンバウム剪刀を、バイポーラはバイクランプを使用する。VIO3の設定はモノポーラがpreciseSECT(プレサイズセクト)モードを、バイ

クランプはthermoSEAL(サーモシール)モードを用いる。

TEPは血管処理操作がないため、基本的にモノポーラのみで手術を完遂することが可能であるが、止血やプレ凝固に有用なバイクランプと併用することで、より出血の少ない手術が可能になる。右手にモノポーラメツェン、左手にバイポーラを把持することで、鉗子の持ち替えを最小限にしつつ、切開、剥離、止血操作を効率的に行うことができる。

## ■ preciseSECTモードを用いたマイクロライン剪刀の利点と使用方法

preciseSECTモードは、切開効果を伴った剥離モードであり、組織の層を意識した剥離が可能になる。実際使用すると、周囲組織への通電が最小限でありながら、切開・止血効果が強い印象があり、膜の切開と剥離操作に適していると考えて

いる。また、マイクロラインのミニメツェンバウムは刃が小さいため、刃先以外で生じる腹壁や腹膜への通電を極力抑えることができ、preciseSECTモードと合わせて、TEPの操作に適している。